

当面の大会開催等について v12

2020年9月20日
日本学生自転車競技連盟

はじめに 感染症拡大防止に留意しながら「新しい生活様式・スマートライフ」を定着させ段階的に社会経済の活動レベルを引き上げていく施策が段階的に実施され、本連盟加盟校向け9/18付けアンケート調査結果では、ほぼ全ての授業がオンライン授業である学校が22%、一部オンライン授業+一部登校授業が78%となり、大会参加についても原則日帰り参加など一部制約があるチームもあるものの、大会に参加可能な学校が過半に達してきております。（前回8月17日時点のアンケート調査の結果は、63.6%のチームの学校がほぼ全ての授業がオンライン授業）

9/5開催の全日本学生ロードレース大会、9/12-13開催の全日本学生トラック大会には、無観客試合の設定など総人員を絞る大会要項の設定と、大学の方針により参加できなかったチームもあり、来場者は少なめであったものの、参加者数は当初予想の「激減」ではなく微減に留まりました。

今後ひきつづき、情勢を慎重に観察しながら、例年より頻繁に理事会を開催し、大会等の事業実施の予定を確定していきたいと考えております。

現時点での大会開催等の事業日程変更の要点は下記の通りです。

全日本大学自転車競技大会

- ・既発表通り、10/10-11トラック（松本）、10/17ロード（群馬）にて開催予定

全日本学生ロードレースカップシリーズ

（中止）

- ・RCS 白馬ラウンド：実施時期が地元農業収穫期と重なる見込みのため中止を決定
- ・RCS 行田ラウンド：地元諸機関と協議の結果、中止を決定
（併催の東京六大学クリテリウムも中止）
- ・RCS 菜の花飯山ラウンド：秋期での日程調整が付かず、今期中止を決定、来春の開催をめざす
- ・RCS 埼玉ラウンド3戦：共催の埼玉県自転車競技連盟大会が中止となったことを受けて中止

（実施）

- ・RCS 霊峰木曾おんたけラウンド：10/31-11/1開催を軸に地元諸機関と準備中
- ・利根川個人TT：11月15日開催前提で関係諸機関と調整中

（変更）

- ・RCS ラウンド数の大幅減少に伴い、RCS 総合成績表彰のあり方について検討中
11/21理事会にて決定予定

大会名称・位置づけの変更

- ・トラック新人戦：10/25実施予定でしたが、西日本は中止、東日本はTRSとして実施準備中
- ・第22回全日本学生選手権クリテリウム大会は延期調整中となっております、RCS ラウンド数の減少に伴う前述検討により、RCS 総合成績表彰がなくなった場合、第15回明治神宮外苑大学クリテリウムを、第22回全日本学生選手権クリテリウム大会を兼ねる大会とすることを検討中です。

JICF e-Race 2020 日直-Tacx-iRC シリーズ

・リアル大会開催が11月中旬で一段落し、冬は再度の感染拡大の可能性も否定できないことから、12月から2月にかけて4戦程度を実施予定。今回からは一定程度のクラス昇格制度を導入予定。

以上